

令和元年度執行事務事業

施策名	基本事業	番号	事務事業名
中心市街地及び 地域市街地の活	地域市街地の特色ある発展	1	初午祭交通安全対策支援事業
		2	たぬまふるさと祭り支援事業
		3	くずう原人まつり支援事業
		4	葛生街路灯維持管理事業
		5	沓番館公衆トイレ維持管理事業

事務事業名		初午祭交通安全対策支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	1 魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり					担当組織	担当部	産業文化部	担当課	産業立市推進課
	政策	2 地域資源を活かしたまちづくり						担当係	商工振興係	担当課長名	小倉 浩史
	施策	1 中心市街地及び地域市街地の活性化						新規事業・継続事業		継続事業	
	基本事業	2 地域市街地の特色ある発展						実施計画事業・一般事業		一般事業	
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	10592	一般	7	1	2	初午祭交通安全対策支援事業					
	事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S51年度～ 年度		根拠法令 条例等	市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
							任意的事業・義務的事業		任意的事業		
						実施方法		直営			
						事業分類		支援事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長市政公約		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)				令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)						
・旧暦2月の初午に近い金・土・日曜日に開催される初午祭りを安全に行うため、田沼初午祭交通安全実行委員会(佐野市あそ商工会、一瓶塚稲荷神社、周辺町会、商店街、佐野警察署などで構成、佐野市あそ商工会が事務局)の活動を支援する事業である。 ・田沼初午祭交通安全実行委員会は、初午祭りの開催について、広報活動や当日の交通整理等を行っている。 ・市の取り組みは、実行委員会に対する交付金支出、近隣市営駐車場の無料開放等を実施している。				・田沼初午祭りは、令和2年3月6日(金)～8日(日)に一瓶塚稲荷神社及び周辺で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により祭りが中止となったため、田沼初午祭交通安全実行委員会に交付した交付金を返還していただいた。						
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)			
交付金支出回数		回	1	1	0					
広報さの記事掲載回数		回	1	1	1					
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
初午祭り		対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)		
【交付対象団体】田沼初午祭交通安全実行委員会		初午祭り開催日数	日	3	3	0				
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
目的		実行委員会に交付金を交付することで、初午祭りの事業の円滑・充実化、無事故の運営が図られる。		成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
		初午祭り来場者数		人		55,000	54,000	0		
		会場内・付近での事故発生件数		件		0	0	0		
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
地域を中心として暮らしやすく、特色を活かした地域となっている。		上位成果指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)	
		地域市街地(田沼)における常住人口		人		8,643	8,693			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円		300	300	0			
	事業費計(A)	千円		300	300	0	0	0	
	事業費の内訳		千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
				交付金	300	交付金	300	交付金	0
人件費	人		1	1	1				
のべ業務時間	時間		50	50	50				
人件費計(B)	千円		191	191	191	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円		491	491	191	0	0		

事務事業名	初午祭交通安全対策支援事業	担当部	産業文化部	担当課	産業立市推進課	担当係	商工振興係
-------	---------------	-----	-------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	旧田沼町において、初午祭りを円滑かつ安全に開催するため、田沼初午祭交通安全実行委員会を組織化したことにより、平成8年から事業を実施している。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	歴史と伝統のある行事として、市民の間では定着している。政策体系上ではこの祭りを地域市街地の活性化に結び付けている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	平成23年2月補助金等交付検討委員会から、「祭りの安全な開催、活性化に貢献しており、交付は妥当である。」と提言を受けた。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	歴史と伝統ある初午祭りを支援し、祭りの円滑・充実化や無事故の運営に貢献することは、来場者の増加につながり、まちなかの活性化に結びつくものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	委ねている	理由・改善案	事業主体は田沼初午祭交通安全実行委員会である。市としては、財政・広報活動支援を実施しているが、まちなか活性化に資する事業のため、現状の関与は妥当なものである。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	この事業は、財政支援や広報活動支援を行うことで、まつり内容の充実・円滑化、無事故の運営という目的で実施している事業のため、対象・意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	来場者数は横ばいの状況で推移している。来場者を増やす取り組みも必要であるが、現状では成果向上は難しい。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費については、実行委員会に対する交付金のみである。実行委員会として財源確保や市に頼らない運営を実施しているため、現状では交付金削減は難しい。人件費は、実行委員会に対する交付金支出、広報活動、会議出席のための業務所要時間であるが、最低限の時間のため、削減は難しい。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	この事業の直接の受益者は、田沼初午祭交通安全実行委員会であるが、間接的には初午祭りに参加する市民である。そのため、受益者は特定されないため、受益者負担を求める必要はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 初午祭りの交通安全対策に際し、市の支援が必要なくなれば、本事業も終了となる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		たぬまふるさと祭り支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	1 魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり					事業区分	担当組織	担当部	産業文化部	担当課	産業立市推進課
	政策	2 地域資源を活かしたまちづくり						担当係	商工振興係	担当課長名	小倉 浩史	
	施策	1 中心市街地及び地域市街地の活性化						新規事業・継続事業	継続事業			
	基本事業	2 地域市街地の特色ある発展						実施計画事業・一般事業	一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名		市単独事業・国県補助事業	市単独事業			
	10591	一般	7	1	2	たぬまふるさと祭り支援事業		任意的事業・義務的事業	任意的事業			
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S51年度～ 年度		根拠法令 条例等			実施方法	直営			
								事業分類	支援事業			
								リーディングプロジェクト	該当なし			
							市長市政公約	該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
<ul style="list-style-type: none"> ・たぬまふるさと祭り実行委員会(佐野市あそ商工会が事務局)が主催する「たぬまふるさと祭り」の活動を支援する事業である。 ・たぬまふるさと祭りは、平成25年度までは田沼中央公園を会場として7月末～8月上旬に開催していたが、平成26年度と平成27年度は田沼庁舎と市民病院の間に開通した市道を歩行者天国にして開催。平成28年度から、会場を田沼行政センター駐車場に変更して、ステージ演目、ウォーターエリア、水合戦、どまんなか総おどり、打ち上げ花火などを実施している。 ・市の取り組みは、実行委員会に対する補助金支出、広報さへの記事掲載、ポスター及びチラシの各公共施設への配布(掲示依頼)、テレビ広報さへの情報提供等を実施している。 					<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度は、43回目で、7月21日(日)午前10時～午後8時30分まで、田沼行政センター駐車場で開催した。 ・市の取り組みとしては、実行委員会に補助金1,700千円を支出、また、広報さの及び市ホームページへの記事掲載、ポスター及びチラシの各公共施設への配布、報道機関への情報提供を行った。 					
		活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)		
		広報さの記事掲載回数	回	1	1	1				
		テレビ広報さの情報提供回数	回	1	1	1				
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
たぬまふるさと祭り		対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)		
【補助対象団体】たぬまふるさと祭り実行委員会		たぬまふるさと祭り開催日数	日	1	1	1				
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
目的		財政支援及び広報支援を行うことで、まつり内容の充実化と円滑運営、来場者数の増加が図られる。		成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
				たぬまふるさと祭り来場者数	人	20,000	20,000	20,000		
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
		地域の中心として暮らしやすく、特色を活かした地域となっている。		上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
				地域市街地(田沼)における常住人口	人		8,643	8,693		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	1,700		1,638		1,700					
	事業費計(A)	千円	1,700		1,638		1,700		0		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			補助金	1,700	補助金	1,638	補助金	1,700				
	人件費	人	1		1		1					
のべ業務時間	時間	70		70		70						
人件費計(B)	千円	267		267		267		0		0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,967		1,905		1,967		0		0		

事務事業名	ためまふるさと祭り支援事業	担当部	産業文化部	担当課	産業立市推進課	担当係	商工振興係
-------	---------------	-----	-------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和51年に田沼町商工会青年部が「I LOVE TANUMA」を合言葉に、子供たちの心に残る夏まつりを開催したいとの趣旨で開催、年々各種事業を盛り込み開催している。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	令和元年度で43回を迎えたが、開始当初と比較して夏のイベントとして市民の間に定着している。 平成21年度から会場を田沼中央公園に移して開催。 平成26年度から会場を田沼庁舎と市民病院の間の新道に移し歩行者天国にして開催。 平成28年度は、会場を田沼行政センター駐車場に変更して開催。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	・来場者を増やす取り組みを検討すべきとの意見、会場を見直すべきではとの意見がある。 ・平成23年2月、補助金等交付検討委員会から「商店街の活性化、商業者に対する支援に貢献しているが、自主財源の確保により補助の減額は可能と考える。また、補助の交付先を明確にすべきである。」との提言を受けた。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案 ためまふるさと祭りを財政面や広報面で支援することで、まつりの充実化や円滑運営に貢献することは、来場者数の増加につながり、まちなかの活性化に結びつくものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	委ねている	理由・改善案 事業主体はためまふるさと祭り実行委員会である。市としては、財政面及び広報活動の支援を実施しているが、まちなか活性化に資する事業のため、現状の関与は妥当なものである。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案 この事業は、財政支援及び広報支援を行うことで、まつり内容の充実化と円滑運営、来場者数の増加が図る目的で実施している事業のため、対象・意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案 市は広報活動の支援をしており、広報さへの記事掲載、テレビ広報さの、ポスター及びチラシの各公共施設への配布を行っているが、佐野地区、葛生地区の住民や市外の方に来ていただけるよう、市のHPを活用するなどして、より効果的な広報の在り方を検討することも必要である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案 田沼地区で開催される同規模・趣旨のまつりはない。 *類似事務事業があれば、名称を記入
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案 事業費については、実行委員会に対する補助金のみである。実行委員会として財源確保や市に頼らない運営を実施しているため、現状では補助金削減は難しい。人件費は、実行委員会に対する補助金支出、広報活動のための業務所要時間であるが、最低限の時間のため、削減は難しい。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案 この事業の直接の受益者は、ためまふるさと祭り実行委員会であるが、間接的にはためまふるさと祭りに参加する市民である。そのため、受益者は特定されないため、受益者負担を求める必要はない。
	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	ためまふるさと祭りが終了した場合、本事業も終了となる。	
総合 評価			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 広報さの等を通じて引き続き広報活動の支援するとともに、SNS等の活用など、より効果的な広報・周知を検討する。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		くずう原人まつり支援事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1 魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり				担当組織	担当部	産業文化部	担当課	産業立市推進課
	政策	2 地域資源を活かしたまちづくり					担当係	商工振興係	担当課長名	小倉 浩史
	施策	1 中心市街地及び地域市街地の活性化					新規事業・継続事業		継続事業	
	基本事業	2 地域市街地の特色ある発展					実施計画事業・一般事業		一般事業	
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	10590	一般	7	1	2	くずう原人まつり支援事業				
	事業区分	市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S63年度～ 年度		根拠法令 条例等	実施方法		直営		
						事業分類		支援事業		
						リーディングプロジェクト		該当なし		
					市長市政公約		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
<ul style="list-style-type: none"> 葛生むらおこし実行委員会(佐野市あそ商工会、市、各団体、市内事業者で構成、佐野市あそ商工会が事務局)が主催する「くずう原人まつり」の活動を支援する事業である。 くずう原人まつりは、嘉多山公園を会場として、8月第4土日に開催、まつりを通して地域に潤いと活力を与え、地域の文化向上、人づくり及び社会福祉増進に寄与することを目的に実施している。 原人ステージで、「プレミアムライブ」「灼熱のサンシャインライブ」(地元小中高校生などによる吹奏楽、田植歌、歌舞伎、ダンス等の実演)「原人チャレンジ」(弓矢、丸太切り、火おこしにチャレンジする古代体験イベント)「和太鼓の共演」などを実施、このほか、フリーステージでのライブ、朝市会売店、ふれあい動物園などを実施。 市の取り組みは、実行委員会に対する補助金支出、ポスター掲示、広報さへの記事掲載、チラシ全戸配布、テレビ広報さへの情報提供等を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度は、32回目で8月24日(土)・25日(日)開催、各種ステージや体験イベント、朝市等を実施した。 市の取り組みとしては、実行委員会に補助金2,500千円を支出。またポスター掲示、広報さの記事掲載、広報さの8月号と同時にチラシの全戸配布、8月定例記者会見で報道機関に情報提供を行った。 					
活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
広報さの記事掲載回数	回	2	2	2		
テレビ広報さの情報提供回数	回	1	1	1		

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

くずう原人まつり	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	くずう原人まつり開催日数	日	2	2	2		
【補助対象団体】むらおこし実行委員会							

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

財政支援及び広報支援を行うことで、まつり内容の充実化と円滑運営、来場者数の増加が図られる。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	くずう原人まつり来場者数	人	30,000	25,000	22,000		

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

地域の中心として暮らしやすく、特色を活かした地域となっている。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	地域市街地(葛生)における常住人口	人		2,092	2,064		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円		200								
	一般財源	千円		2,300	2,500	2,500						
	事業費計(A)	千円		2,500	2,500	2,500	0	0				
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			補助金	0	補助金	132	補助金	2,500				
	正規職員従事人数	人		2	2	2						
のべ業務時間	時間		80	80	80							
人件費計(B)	千円		305	306	305	0	0					
トータルコスト(A)+(B)	千円		2,805	2,806	2,805	0	0					

事務事業名	くずう原人まつり支援事業	担当部	産業文化部	担当課	産業立市推進課	担当係	商工振興係
-------	--------------	-----	-------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	旧葛生町において、昭和62年度に県地域小規模事業活性化推進事業を開始、商工会を事務局としたむらおこし実行委員会が組織化され、昭和63年度からくずう原人まつりが開催された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成30年度で31回を迎えたが、開始当初と比較して夏のイベントとして市民の間に定着している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	民間主導のイベントとして成功しているので、継続して実施して欲しいとの意見がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	嘉多山公園を会場として行くくずう原人まつりを財政面や広報面で支援することで、まつりの充実化や円滑運営に貢献することは、来場者数の増加につながり、まちなかの活性化に結びつくものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	委ねている	理由・改善案	事業主体はむらおこし実行委員会である。市としては、財政面及び広報活動の支援を実施しているが、まちなか活性化に資する事業のため、現状の関与は妥当なものである。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	この事業は、財政支援及び広報支援を行うことで、まつり内容の充実化と円滑運営、来場者数の増加を図る目的で実施している事業のため、対象・意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	市は広報活動の支援をしており、広報さのへの記事掲載、テレビ広報さの、チラシの全戸配布及び各報道機関への情報提供を行っているが、佐野地区、田沼地区の住民や市外の方に来ていただくよう、市のHPを活用するなどして、より効果的な広報の在り方を検討することも必要である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	葛生地区で開催される同規模のまつりはない。 *類似事務事業があれば、名称を記入
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費については、実行委員会に対する補助金のみである。実行委員会として財源確保や市に頼らない運営を実施しているため、現状では補助金削減は難しい。人件費は、実行委員会に対する補助金支出、広報活動、会議出席のための業務所要時間であるが、最低限の時間のため、削減は難しい。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	この事業の直接の受益者は、むらおこし実行委員会であるが、間接的には原人まつりに参加する市民である。そのため、受益者は特定されないため、受益者負担を求めない。
	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	くずう原人まつりが終了した場合、本事業も終了となる。		
総合 評価				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 広報さの等を通じて引き続き広報活動の支援するとともに、SNS等の活用など、より効果的な広報・周知を検討する。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		葛生街路灯維持管理支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	1 魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり					事業区分	担当組織	担当部	産業文化部	担当課	産業立市推進課
	政策	2 地域資源を活かしたまちづくり						担当係	商工振興係	担当課長名	小倉 浩史	
	施策	1 中心市街地及び地域市街地の活性化						新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 地域市街地の特色ある発展						実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名						
	10587	一般	7	1	2	葛生街路灯維持管理事業						
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H7年度～ 年度		根拠法令 条例等							
							市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
							任意的事業・義務的事業		任意的事業			
						実施方法		直営				
						事業分類		施設維持管理事業(市主体)				
						リーディングプロジェクト		該当なし				
						市長市政公約		該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)						
・平成26年度までは葛生地区内に設置している街路灯(葛生町街路灯維持管理委員会に管理を委託している223基→防犯灯への切替えにより、平成26年度末には155基となった)の電気料の補助を行い、市管理の3基分の電気料を支出する事業であったが、平成26年度中に防犯灯への切替えを行ったため、平成27年度より電気料の補助は廃止し、市所有の原人ロード街路灯(28基)及び従来より市管理の一般街路灯(3基)の電気料及び施設賠償保険料等を支出する事業となった。 ・原人ロード街路灯(28基)の電気料金は、市70%、町会30%の負担割合で、町会の負担分は町会が年2回(上半期分と下半期分)に分けて市に納入する。 ・街路灯の撤去は葛生町街路灯維持管理委員会が平成27年度と平成28年度の2力年かけて行い、撤去費用の50%を市補助金として平成27年度と平成28年度に支出する(撤去費用の負担割合は市50%、葛生町街路灯維持管理委員会20%、町会30%)。(葛生街路灯撤去支援事業)					・令和元年度は、原人ロード街路灯(28基)の電気料金388,901円及び一般街路灯(従来より市管理の3基)の電気料金7,804円、街路灯31基分の施設所有(管理)者賠償責任保険料5,760円を支出。						
活動指標					単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)	
電気料金支払回数					回	13	13	13			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
① 市民・来訪者 ② 葛生地区内街路灯					対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
人口					人	120,018	119,348	118,450			
街路灯設置数					基	31	31	31			
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
① 安全・快適に生活、事業活動を行うことができる。 ② 適正な維持管理がされている。					成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
施設維持管理上の苦情件数					件	0	0	0			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
地域の中心として暮らしやすく、特色を活かした地域となっている。					上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
地域市街地(葛生)における常住人口					人		2,092	2,064			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)			
		国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円		116	117					
		一般財源	千円	348	418	286					
		事業費計(A)	千円	348	534	403	0	0			
		事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
				光熱水費	342	光熱水費	393	光熱水費	397		
				施設賠償保険料	6	修繕料	135	施設賠償保険料	6		
						施設賠償保険料	6				
		正規職員従事人数	人	1	1	1					
		のべ業務時間	時間	30	30	30					
		人件費計(B)	千円	114	115	114	0	0			
		トータルコスト(A)+(B)	千円	462	649	517	0	0			

事務事業名	葛生街路灯維持管理支援事業	担当部	産業文化部	担当課	産業立市推進課	担当係	商工振興係
-------	---------------	-----	-------	-----	---------	-----	-------

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	旧葛生町において、平成6年に老朽化した街路灯を全て設置し、その管理運営を行うため、平成7年2月に葛生町街路灯維持管理委員会を設置し、同委員会に対して、旧葛生町で電気料の補助を実施した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	葛生庁舎が平成24年1月に移転し、葛生地区のまちなか活性化の取り組みは重要性が増すと考えられる。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	平成23年2月、補助金等交付検討委員会から、「(他地区では街路灯の補助は実施していないため)他地区との整合性を考えたうえで、防犯灯に対する補助との関連を整理すべきである。」との提言を受けた。

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 この事業を通して、葛生地区内の街路灯の適正な維持管理を図り、市民が安全・快適に生活及び事業活動を行うことができることは、魅力的で住みやすい市街地とすることに結びつくものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 平成26年度までは街路灯の維持管理は葛生町街路灯維持管理委員会が行い、市は直接管理以外については、電気料補助として補助金を交付してきたが、平成27年度より原人ロード街路灯(28基)と一般街路灯(従来より市管理の3基)の31基は市が維持管理することとなったため。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 この事業は、市民が安全・快適に生活、事業活動を行うことができるようにするための街路灯維持管理事業であるため、対象・意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 街路灯の電気料補助は葛生地区以外では実施しておらず、葛生地区においては街路灯は防犯灯の役割も担っているため、補助金等交付検討委員会の提言も踏まえて、今後の補助の方向性を検討してきたが、平成26年度に佐野市あそ商工会(葛生町街路灯維持管理委員会事務局)・町会と協議し決定したとおり、平成26年度中に街路灯(原人ロード街路灯を除く)を防犯灯に切替え、平成27年度からは電気料の補助は廃止し、原人ロード街路灯と一般街路灯の電気料と施設賠償保険料を支出した。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業があり統合・連携できる・している	理由・改善案 類似事務事業名 防犯灯設置支援事業 佐野市防犯協会が防犯灯設置支援事業を行っており、この事業と統合・連携できることになった。 *類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 平成25年度までは、現状においては事業費は、葛生町街路灯維持管理委員会に対する補助金及び市管理分街路灯の電気料のみであり、実績に応じて事業費が変わるが、削減の余地はなく、人件費についても補助金交付や電気料支払いのための事務処理時間であり、削減余地はない、としてきたが、平成26年度の佐野市あそ商工会及び町会との協議の結果、防犯灯設置事業との統合が図られることになり、平成27年度より、この事業の電気料の補助を廃止することになったため、事業費・人件費ともに削減できた。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 この事業の受益者は葛生地区内住民であるが、特定された受益者ではないので、受益者負担を求める必要はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	防犯灯設置支援事業との統合が図れれば、この事業は廃止できる。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		壱番館公衆トイレ維持管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	1 魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり					担当組織	担当部	産業文化部	担当課	産業立市推進課
	政策	2 地域資源を活かしたまちづくり						担当係	商工振興係	担当課長名	小倉 浩史
	施策	1 中心市街地及び地域市街地の活性化						新規事業・継続事業		継続事業	
	基本事業	2 地域市街地の特色ある発展						実施計画事業・一般事業		一般事業	
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	10523	一般	7	1	2	壱番館公衆トイレ維持管理事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H14年度～ 年度		根拠法令 条例等						
							事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業
								任意的事業・義務的事業		任意的事業	
								実施方法		直営	
								事業分類		施設維持管理事業(市主体)	
								リーディングプロジェクト		該当なし	
								市長市政公約		該当なし	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)												
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)							
<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地の活性化の拠点施設として設置された葛の里壱番館の公衆トイレ(葛の里壱番館東側)の維持管理を行う事業である。 維持管理は、まちづくり葛生㈱に委託して維持管理を行う。 トイレ周辺の立木の害虫駆除、剪定なども行う。 					<ul style="list-style-type: none"> 公衆トイレの維持管理をまちづくり葛生㈱に委託した。 公衆トイレの照明の修繕を行った。(4月) 公衆トイレの手洗い器の修繕を行った。(12月) ポケットパーク南側の生垣の剪定を実施した。(3月) 							
		活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)			
		トイレ清掃作業のべ日数		日	365	365	365					
		トイレ周辺立木の害虫駆除等回数		回	1	1	1					
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)												
① 来訪者(市民・観光客等) ② 葛の里壱番館公衆トイレ					対象指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
					来訪者数(壱番館)		人	12,000	12,000	12,000		
目的												
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)												
① 快適に公衆トイレを利用することができる。 ② いつでも快適に利用できるように維持管理がなされている。					成果指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
					施設維持管理上の来訪者からの苦情件数		件	0	0	0		
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)												
地域の中心として暮らしやすく、特色を活かした地域となっている。					上位成果指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
					地域市街地(葛生)における常住人口		人		2,092	2,064		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	919		881		913					
	事業費計(A)	千円	919		881		913		0		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			需用費	363	需用費	290	需用費	267				
			役務費	4	役務費	4	役務費	4				
委託料			552	委託料	587	委託料	641					
正規職員従事人数	人	1		1		1						
のべ業務時間	時間	15		15		15						
人件費計(B)	千円	57		57		57		0		0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	976		938		970		0		0		

事務事業名	壱番館公衆トイレ維持管理事業	担当部	産業文化部	担当課	産業立市推進課	担当係	商工振興係
-------	----------------	-----	-------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	旧葛生町において、平成14年4月27日に葛の里壱番館の開館に合わせ、中心市街地への来訪者の利便性を図るため、公衆トイレを設置した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	葛生庁舎が平成24年1月に移転したため、葛生地区のまちなか活性化の拠点施設としての葛の里壱番館の重要性は増している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	公衆トイレを維持管理しているまちづくり葛生㈱から、家庭用ごみを公衆トイレに廃棄するケースが増えているという報告があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案 この事業は、葛の里壱番館に来訪された方が快適に公衆トイレを利用していただくための維持管理事業であるが、葛の里壱番館は中心市街地の活性化の中心拠点のひとつであり、この付帯施設を適正に維持管理することは、中心市街地の活性化に結び付くものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	委ねている	理由・改善案 葛の里壱番館の公衆トイレは市の施設であり、市に管理責任があるが、維持管理については既にまちづくり葛生㈱に委託している。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案 この事業は、葛の里壱番館に来訪された方が快適に公衆トイレを利用してもらうための維持管理事業であるため、対象・意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案 現状のところ、維持管理上の市民からの苦情は出ていないが、家庭ごみを廃棄するケースもあることから、貼紙をして投棄しないよう注意を促している。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案 *類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案 事業費は、トイレトーパーや電球等の消耗品費、光熱水費、保険料、樹木防除業務委託料及びまちづくり葛生㈱への管理委託料である。これまで実績に基づいて事業費の削減に努めてきたため、これ以上の削減余地はない。人件費についても、事務処理上最低の業務所要時間のため、削減余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 この事業の受益者は、公衆トイレを利用する市民及び来訪者であり、受益者は特定されないため、負担を求める必要はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 葛の里壱番館の公衆トイレが存続する限り、この事業を廃止することはできない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			